

レクチャー

「エビデンスに基づく公衆衛生 / 実践」入門 (Evidence Based Public Health / Practice)



た：ここからはミニレクチャー、「エビデンスに基づく公衆衛生と実践」を聴いてね。

「エビデンスに基づく

公衆衛生 / 実践」入門



一番大事なこと三つ！

1. エビデンスって何？
2. エビデンスってどこにあるの？
3. エビデンスってどう使うの？

1. エビデンスって何？



ブ：さて、今回は新規事業を現場に導入する「事業実装」の基本を学んできたね。このミニレクチャーでは、どのような事業を導入するかを根拠に基づいて判断するために欠かせない「エビデンス」について押さえておくよ。

エビデンスに基づく公衆衛生 / 実践

1. エビデンスって何？



エビデンスの定義

- 最も基本的なエビデンスの定義：「信念や推奨が真実か妥当かを示す、利用可能な事実や情報の体系」（Jewell EJ, eds. 2001）。
- 公衆衛生専門家にとってのエビデンスとは、判断や決定を行う際に用いる、疫学的な量的データ、プログラムや政策の評価結果、質的データなど、何らかの形式のデータのことを指す（Brownson RC, et.al. 2009）。

た（バタバタ上下）

ブ：まず定義は、「信念や推奨が真実か妥当かを示す、利用可能な事実や情報の体系」だよ。量的データや質的データで示されることが多いね。

エビデンスに基づく公衆衛生 / 実践

1. エビデンスって何？



エビデンスの分類

タイプ1 課題と優先度

(何をすべきか？・必要性を見せる)

タイプ2 介入の有効性

(効果は確かか？・成果を見せる)

タイプ3 状況に応じた実装と普及の方法

(どのように進めるのか？・成り立つ展開
[= 成解]を見せる) (Brownson RC,
et.al. 2009,2022 をもとに意識)。

エビデンスに基づく公衆衛生 / 実践

1. エビデンスって何？



エビデンスの分類

- ★タイプ1・2のエビデンスには「エビデンスレベル」を適用しやすい。
- ★タイプ3の場合は、その地域 / 場と時代 / 時期の実態に応じた、転用可能性や、開放 / リカバリー / エンパワメント / 強化の可能性のエビデンス、つまり現場の文脈に依存して当面成立可能な根拠や選択肢が求められる。

ブ：それから、エビデンスには3つのタイプがあるんだよ。何をすべきか？と必要性を見せるタイプ1、効果は確かか？と成果を見せるタイプ2、どのように進めるのか？と成り立つ展開を見せるタイプ3、どれも大事なエビデンスだね。
た(パタパタ上下)

エビデンスに基づく公衆衛生 / 実践

1. エビデンスって何？



エビデンスレベル

- Level I 関連したランダム化比較試験（RCTs）のシステマティックレビュー
- Level II 適切に設定されたランダム化比較試験（RCTs）
- Level III ランダム化されていないが適切に設定された比較試験（準実験的研究）
- Level IV 適切に設定された症例対象研究、コホート研究
- Level V 記述的研究や質的研究のシステマティックレビュー
- Level VI 単一の記述的研究や質的研究
- Level VII 関係省庁・団体の意見や専門家委員会の報告書
(Melnyk, B. M., & Fineout-Overholt, E. 2019)

エビデンスに基づく公衆衛生 / 実践

1. エビデンスって何？



Muir Gray (1997)

“The absence of excellent evidence does not make evidence-based decision making impossible; what is required is the best evidence available not the best evidence possible.”

「優れたエビデンスがないからといって、エビデンスに基づく意思決定が不可能になるわけではありません。必要なのは、入手可能な最良のエビデンスであって、可能な限り最高のエビデンスではないのです。」

注：エビデンスレベルは画面に示したとおりだよ。ポピュレーションを対象とした知見が求められる公衆衛生の分野では、実験的な研究が難しいことから、グレイ先生が述べているように、入手可能な最良のエビデンスを用いることが重要なんだ。

2. エビデンスって どこにあるの？

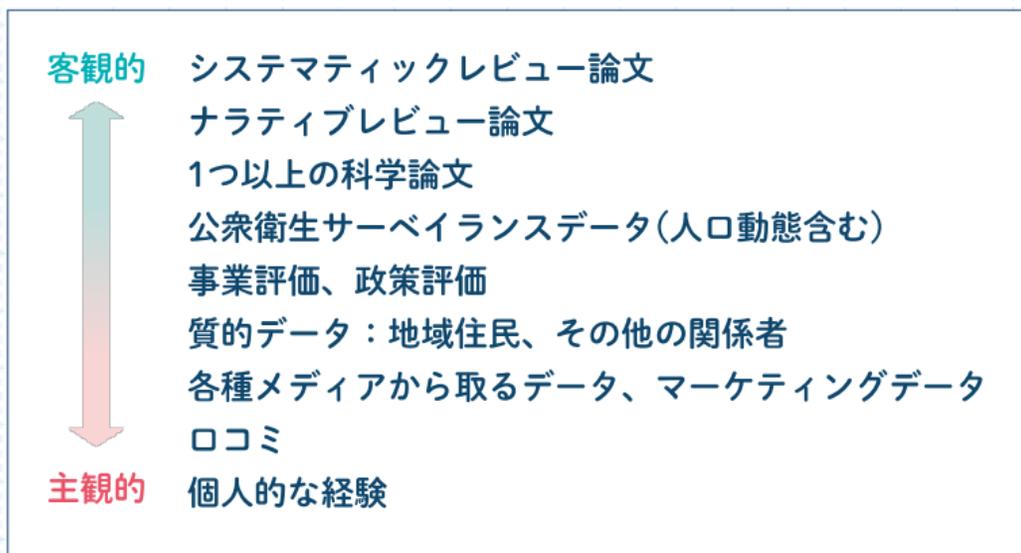


エビデンスに基づく公衆衛生 / 実践

2. エビデンスってどこにあるの？



図5 様々な形式のエビデンス (Chambers & Kerner, 2007)



ブ：次は、エビデンスの探し方だよ。エビデンスの形式には、図のように主観的なものから客観的なものまであるんだ。文献として報告されているものは、画面に示したいろんな検索ツールで調べることができるよ。

エビデンスに基づく公衆衛生 / 実践

2. エビデンスってどこにあるの？



表6 文献検索ツール

■ オープンアクセスの論文は無料で読めます。

ネットで使える無料のデータベース	
Cochrane Library (コクランライブラリー) : 国際、システマティックレビュー等のデータベース	https://www.cochranelibrary.com/
PubMed (パブメド) : 国際、医学系雑誌	https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/
Google scholar (グーグルスカラー) : 国内・国際、学術全般	https://scholar.google.co.jp/schhp?hl=ja
CiNii (サイニイ) : 国内、論文・図書等全般	https://cir.nii.ac.jp/
J-STAGE (ジェイステージ) : 国内、電子ジャーナル全般	https://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja
学術機関リポジトリ (IRDB) : 国内、大学等学術機関が公開している論文全般	https://irdb.nii.ac.jp/

医歯薬看護系大学で使えるデータベース (教員や院生を通して活用可能)	医中誌Web (いちゅうし・うえぶ) : 国内、医学系雑誌
	CINAHL (シナル) : 国際、看護・医療系雑誌
	Web of Science (ウェブオブサイエンス) : 国際、学術全般

ブ : グーグルスカラーやサイニイなど無料で手軽に使えるものが多いので、ほしい知見をどんどん調べるといいね！

3. エビデンスってどう使うの？



エビデンスに基づく公衆衛生 / 実践

3. エビデンスってどう使うの？



エビデンスの使い方

- 正しいことを正しく行う Doing the right things right (Gray,1997) ために使います。
- つまり「エビデンスに基づく意思決定」の実行に必須です。
- 利用可能な最良のエビデンスを使います (Gray,1997)。

エビデンスに基づく公衆衛生 / 実践

3. エビデンスってどう使うの？



エビデンスに基づく公衆衛生の7段階 (Brownson, 2017)

1. コミュニティアセスメントの実施 (何が課題?)
2. 課題に関する当初見解提示 (その課題の何を解決すればいいの?)
3. 問題の定式化 (解決に向けてどのようなエビデンスがほしいの?)
4. 学術文献の検索とシステマティックレビューの活用 (こんなエビデンスがあるよ)
5. 介入方法の選択肢作成と優先順位付け (どれが使えるかな)
6. 事業・政策の計画立案と実施 (計画に組み込もう)
7. 事業・政策の評価 (成果が得られたかな?)

ブ: 最後のパート、エビデンスの使い方だよ。正しいことを正しく行うため使うという点は、もうわかっているよね。7段階で示されているのは、地域の課題は何かをまずアセスメントして、何を解決すべきなのか、そのためにどんなエビデンスがほしいのかを明確にしてから、文献のレビューをしてエビデンスをみつけ、どれを使うか吟味して、計画に組み込み、成果が得られたかを評価する、というエビデンスを使う一連のプロセスだよ。

3. エビデンスってどう使うの？



■ 問題の定式化の基本形（PICO、PECO）

P : Patient (患者)・Participant (参加者)・Problem (問題)

例) A 地区の住民が

I (E) : Intervention (介入)・Exposure (暴露)

例) ○○予防の健康教育に参加すると

C : Comparison (比較対照)

例) 参加しない住民よりも

O : Outcome (転帰、結果)

例) ○○の発症率が減少するか？

エビデンスに基づく公衆衛生 / 実践

3. エビデンスってどう使うの？



- 利用可能な最良のエビデンスの判断に用いる問い
(Gray,1997 Brownson,2022 より抜粋作成)
- この問題に対して最善の研究方法で行われたか？
- いくつの研究がなされてきたか？
- 信頼できる方法でデータが分析されたか？
- どの程度の効果が得られたか？
- その介入は害ではなく利益をもたらすか？
- どの程度の信頼性で対象となる集団に適用できるか？
- その地域やポピュレーションにとって適切か？
- 費用対効果はあるか？

ブ：そして、いくつかエビデンスが見つかって、使えるかどうかを吟味する際には、画面に示した問いを用いることができるよ。図に示した根拠に基づく意思決定の要素は、意思決定に向けて集めた情報を整理する枠組みとして重宝するよ。

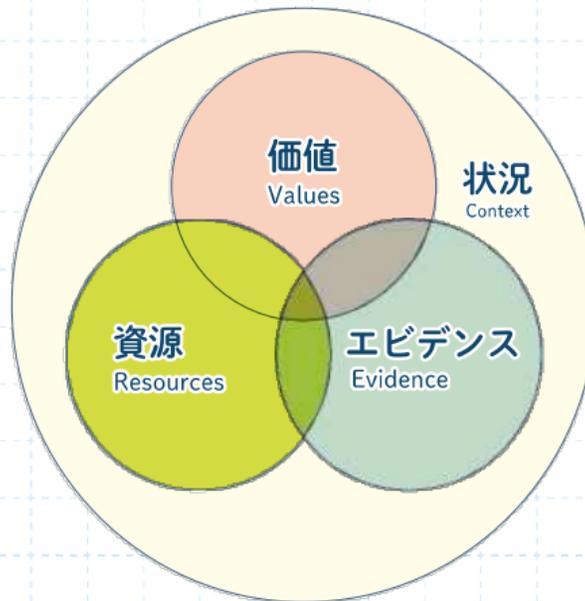
ブ：さあ、これでエビデンスに基づく公衆衛生と実践の基本が分かったかな。(キラリ)

エビデンスに基づく公衆衛生 / 実践

3. エビデンスってどう使うの？



図6 根拠に基づく意思決定の要素



- この図は「根拠に基づく意思決定の要素」です。
- 3つの要素、「価値」と「資源」と「エビデンス」は、人が意思決定を行う際の優先度判断に必須の要素です。
- 「価値」とは「人々がなりたい姿であり、思いや信念、価値観を伴うもの」
- 「資源」とは「実現を可能にする社会資源」
- 「エビデンス」とは「解決を可能にする根拠」
- 意思決定を導く公衆衛生看護活動においては、より健康な状態をめざして、これらを効果的に見せる必要があります。
- また、これらの要素は、時や場、人といった「状況」に影響を受けるため、意思決定に際しては、「状況」を鑑みる必要があります。